

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## **IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
Please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-101993

(43)Date of publication of application : 15.04.1997

(51)Int.Cl. G06F 17/60  
G06F 17/40

(21)Application number : 08-139796

(71)Applicant : FUJITSU LTD  
TOMU TEC:KK

(22)Date of filing : 03.06.1996

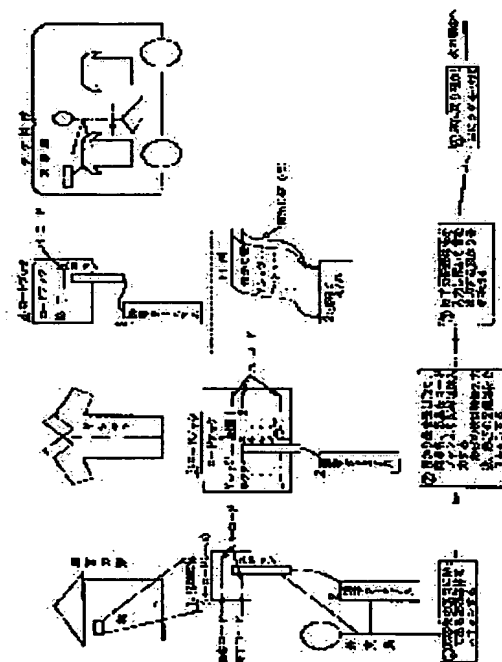
(72)Inventor : KINOSHITA TAKAHITO  
HAYASHI YOSHITAKA  
SAKA KOSEI  
ENDO TAKASHI

## (54) PORTABLE TERMINAL FOR VISIT RESULT MANAGEMENT

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily grasp ordered contents by making a customer preserve a recording medium as a medium for identifying the customer, providing functions for reading a customer code from the identifying medium and inputting transaction data to a portable terminal, and providing a timer for storing that information.

**SOLUTION:** A recording medium 1 is preserved by being stuck or installed at the entrance of a customer's house and when a salesman visits any customer's house, the customer code recorded in the recording medium 1 is read and stored while using a portable terminal 2 carried with him. Simultaneously, time is stored and further, the contents ordered from the customer are stored. After back to the office, series of these data are transmitted to a host 4. The host 4 previously stores the information of addresses or the like and by collating this information with the data from the portable terminal 2, the name of customer, address, time of visit and ordered contents or the like are collected. Therefore, the name of customer where the salesman visits, the address, time and ordered contents can be exactly collected.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 03.07.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 23.06.1998

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2868149

[Date of registration] 25.12.1998

[Number of appeal against examiner's decision 10-11631  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's 24.07.1998  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-101993

(43) 公開日 平成9年(1997)4月15日

(51) Int.Cl. <sup>a</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 3 0
17/40				Z
			15/74	3 4 0 A

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平8-139796  
(62) 分割の表示 特願昭63-287135の分割  
(22) 出願日 昭和63年(1988)11月14日

(71) 出願人 000005223  
富士通株式会社  
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号  
(71) 出願人 000247203  
有限会社トムテック  
富山県魚津市港町6番3号  
(72) 発明者 木下 孝仁  
富山県魚津市港町6番3号 有限会社トムテック内  
(74) 代理人 弁理士 岡田 守弘

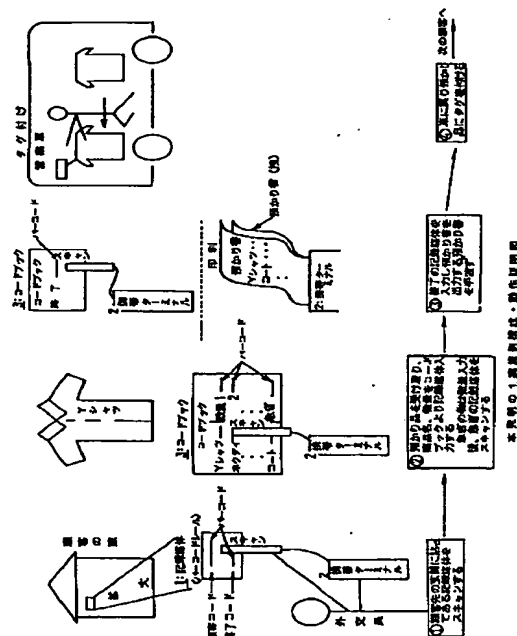
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 訪問実績管理用携帯ターミナル

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、訪問実績管理用携帯ターミナルに関し、顧客先の建造物などに記録媒体を固着あるいは顧客に保管させ、外交員が顧客先を訪問した際に、記録媒体をタイマを内蔵した携帯ターミナルを用いて読取り、同時に訪問時刻を記憶すると共に、商取引を行い、帰社後ホストにこれら一連のデータを伝送する形態で情報を収集し、顧客先名、住所、訪問時刻、訪問順序および発注内容を正確かつ容易に把握できるような携帯ターミナルを提供することを目的とする。

【解決手段】 顧客識別符号を記録した識別体から当該識別符号を読み取る手段と、時刻を計時するタイマと、取引データを入力する手段と、識別符号読み取り手段による識別符号の読み取り動作にตอบสนองしてタイマの時刻を自動的に記憶する手段と、記憶手段に記憶された時刻情報を前記入力手段から入力した取引データと合わせて送出する手段とを備えるように構成する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】顧客識別符号を記録した識別体から当該識別符号を読み取る手段と、時刻を計時するタイマと、取引データを入力する手段と、前記識別符号読み取り手段による識別符号の読み取り動作にตอบสนองして前記タイマの時刻を自動的に記憶する手段と、前記記憶手段に記憶された時刻情報を前記入力手段から入力した取引データと合わせて送出する手段とを備えることを特徴とする訪問実績管理用携帯ターミナル。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、固定された顧客先を訪問して商取引を行う外交員の訪問実績を管理するに最適な訪問実績管理用携帯ターミナルに関し、さらに具体的には、顧客先コードを示すバーコードなどを印刷したシールを、あらかじめ顧客先の建造物などに固着したり、または顧客先に保管させておき、外交員が顧客先を訪問した際に、携帯ターミナルを用いて前記バーコードから読取った顧客先コードを時刻と共に記憶して商取引を行い、ホストにこれら記憶内容を伝送して情報を収集することにより、顧客先名、訪問時刻を商取引情報とともに正確かつ容易に収集するようにした新しい携帯ターミナルに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、訪問商取引を行う外交員が携帯ターミナルを持って顧客先に出掛け、発注又は入金などの取引に対応して顧客先コード及び取引内容をキー入力し、当該携帯ターミナルに記憶させる。そして、帰社後、ホストにこの記憶させた取引内容を伝送し、預かった通帳等がある場合は元帳と照合して記帳などすることが行われており、このような外交員用の携帯ターミナルの一例が例えば特開昭61-204769号などに示されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来の携帯ターミナルでは、顧客先コードの入力間違いが起ったり、外交員が業務開始時に予め指定された顧客先を何時に訪問したか、どのような順序で指定された顧客先を訪問したか、留守で商取引を行えなかったか、あるいは何らかの理由によって顧客先を訪問できなかったなどの状況を正確に把握しえず、外交員の外回りの効率的な運用管理を行えないと共に、発注を受けた内容を誤りなく正確かつ迅速に処理しえないという問題があった。

【0004】本発明は、顧客先の建造物などにバーコードなどの記録媒体を固着あるいは顧客に保管させ、外交員が当該顧客先を訪問した際に、記録媒体をタイマを内蔵した携帯ターミナルを用いて読取り、同時に訪問時刻

を記憶すると共に、商取引を行い、帰社後ホストにこれら一連のデータを伝送する形態で情報を収集することにより、顧客先名、住所、訪問時刻、訪問順序および発注内容を正確かつ容易に把握できるような携帯ターミナルを提供することを目的としている。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】第1図を参照して上記の課題を解決する手段を説明する。第1図において、記録媒体1は、顧客コードをバーコードなどで記録した識別媒体とし、顧客先の建造物に固着、または顧客に保管させるものである。

【0006】携帯ターミナル2は、識別媒体1から顧客コードを読み取る機能と取引データを入力する機能を有すると共にそれらの情報を記憶するタイマ内蔵の携帯用の読み取り装置である。

【0007】コードブック3は、顧客先の発注内容(品名、数量、一連の預かり番号など)を携帯ターミナル2などによって、読み取らせるために予め入力情報を印刷したものである。

【0008】本発明では、図1に示すように、顧客先の建造物である玄関などに記録媒体1を貼布あるいは顧客先に保管させ、外交員が訪問先を訪問した際に、持参した携帯ターミナル2を用いて記録媒体1に記録した顧客コードを読み取らせて記憶すると同時に顧客コード対応に時刻を記憶し、更に顧客からの発注内容を記憶し、帰社後これら一連のデータをホスト4に伝送する。ホスト4に住所などの顧客情報が予め記憶されており、これと携帯ターミナル2からのデータを突き合わせることで顧客先名、住所、訪問時刻、及び発注内容を収集するようにしている。

【0009】従って、外交員などが訪問した顧客名、顧客住所、時刻、および発注内容を正確に収集でき、効率的な外回り管理を行うことが可能となると共に、迅速かつ誤りのない発注処理を効率的に行うことが可能となる。

## 【0010】

【発明の実施の形態】次に、本発明の携帯ターミナルをクリーニング事業の訪問実績管理に適用した1実施例の構成および動作を図1から図8を用いて順次詳細に説明する。

【0011】図1において、顧客識別体としての記録媒体1は、バーコードなどを用いて顧客コード(例えば電話番号)を印刷したシール(印刷用紙)であり、顧客先建造物である玄関、門柱などに固着、あるいは保管してもらうものである。この記録媒体1から顧客コードを携帯ターミナル2を用いて読み取ることにより、外交員が訪問した顧客名、時刻、更に公知のコードブックからの読み取りを携帯ターミナル2を用いることで発注内容などを正確に記憶することが可能となる。

【0012】携帯ターミナル(携帯用端末装置)2は、タ

イマを内蔵するHHT(ハンドヘルドターミナル)などであって、外交員が携帯して顧客先を訪問し、顧客先建造物である玄関に固着などした記録媒体1に記載されている顧客コードを読み取って記憶しかつ日時を記憶するものである。更に、発注に対応する公知のコードブック3の内容を読み取って記憶などするものである。尚、携帯ターミナル2は、識別体から識別符号を読み取る読取り手段、時刻を計時するタイマ、取引データを入力する手段(キーボードなど)、識別符号の読み取り動作にตอบสนองしてタイマの時刻を自動的に記憶する手段、および記憶された時刻情報と取引データと合わせて送出する手段などを備えるものである。

【0013】コードブック3は、顧客からの発注内容(品名、数量、一連の預かり番号など)を携帯ターミナル2を用いて読み取らせるために予めバーコードなどの読み取り可能形態で記載したものである。

【0014】次に、図1構成の動作を説明する。図1において、①は、顧客先の玄関に貼ってあるバーコード1をスキャンする。これは、外交員が顧客先を訪問し、上段に示すように、玄関に予め貼っておいたバーコード1を、携帯ターミナル2を用いてスキャンし、当該顧客先コードを読み取らせると同時に日時を記憶させることを意味している。

【0015】②は、“預かり品”を受け取り、商品名、数量などをコードブック3よりバーコードを使用し入力する。急ぎの物は数量入力後、急ぎのバーコードをスキャンする。

【0016】③は、終了のバーコードを入力し、預かり書を出力する。携帯ターミナル2を付加した印刷機構によって印字させ、これを顧客に手渡す。④は、車に戻り、“預かり品”に対応した一連の預かり番号と同一の番号のタグを付け、次の顧客先へ行き、①～④の作業を繰り返す。

【0017】以上のように、外交員が携帯ターミナル2を持って訪問した顧客先の玄関などに貼ってある記録媒体1をスキャンして顧客コード、訪問時刻を記憶すると共に、更に預かり品に一連の預かり番号と同一の番号のタグを付与することにより、顧客コード、訪問時刻、および発注内容を正確に記憶させることが可能となる。

【0018】次に、図2を用いて本発明の全体の構成および動作を説明する。図2において、外交員が携帯ターミナル2を持って顧客先を訪問し、既述したように、当該顧客先の玄関などに貼ってあるバーコード1をスキャンして顧客コード(例えば電話番号)、訪問時刻、および発注内容を記憶する。そして、帰社後、データ転送アダプタ5に当該携帯ターミナル2を接続して記憶内容をホスト4に伝送させる。ホスト4は、これら伝送されてきた内容から外交員(顧客名、訪問時刻、発注内容など)をマスタファイルに格納すると共に、事前に入力されている住所などの顧客情報を携帯ターミナル2より伝送され

た顧客コードより検索し、図6に示すように外交員の訪問実績を印字などする。これにより、外交員が顧客先を訪問した際の顧客名、訪問時間、および発注内容の誤入力を防止することが可能になると共に、正確な情報、特に訪問時間を収集して外交員の負荷の平準化、作業の効率化を図ることが可能となる。図3を用いて新規会員の場合の動作を説明する。

【0019】図3において、①は、顧客コードが付いているバーコード1(記録媒体、新規会員受付用)の会員コードをスキャンする。そして、顧客の氏名、住所、電話番号などを聴き、顧客カード7に手書きなどする。そして、顧客からの預かり品を受け取る。作業終了後、車内でタグを預かり品に付け、次の顧客を訪問する。帰社後、携帯ターミナル2に記憶させた顧客コード(新規会員用顧客受付コードを含む)、訪問時刻、および発注内容をホスト4に読み込ませる。更に、新規会員の場合には、

(1) 顧客カード7に手書きした顧客の氏名、住所、電話番号をキー入力する。

【0020】(2) キー入力した電話番号により顧客コードを作成する。

(3) (2)で作成した顧客コードを新規会員用受付コードと入れ換える。

(4) バーコード1の作成を行う。そして、次回に新規顧客先を訪問した際に当該作成したバーコード1を貼る。

【0021】以上の処理によって、新規に訪問した顧客先建造物の玄関などにバーコード1を貼る。図4を用いて、訪問した顧客先が留守の場合の動作を説明する。

【0022】図4において、①は、外交員が顧客先の玄関に貼ってあるバーコード1を携帯ターミナル2でスキャンする。これにより、携帯ターミナル2に当該顧客コードが記憶される。顧客の留守を確認した後、コードブックより終了コードを入力する。帰社後、当該内容をホスト4に読み込ませる。

【0023】図5は、コードブック例を示す。これは、既述したように、外交員が顧客先を訪問した際に、顧客先の発注に対応して、該当品名、数量などを入力するための情報を、バーコードを用いて予め記載したものである。例えば“Yシャツ”を3枚クリーニングする発注を受けた場合、外交員が品名“Yシャツ”のバーコードを用いて記載したコードを、携帯ターミナル2を使用してスキャンし、記憶させる。次に、数量のバーコードなどを用いて“3”をスキャンする。これにより、図1を用いて既述したように、預かり品を受け取ってタグを付ける。そして、帰社後、この記憶した内容をホスト4に伝送する。

【0024】図6は、外交員の訪問実績例を示す。これは、図1で携帯ターミナル2を用いて顧客先の玄関に貼ったバーコード1をスキャンして記憶した顧客コード、訪問時刻、およびコードブック3をスキャンして記憶し

10

20

30

40

50

た発注内容をホスト4に読み取らせ、外交員の一日の訪問実績の1部分を印刷したものである。ここで、顧客名“AAA”、住所“××-××”、および顧客名“CCC”、住所“××-××”については、預かり品を図示のように受け取っている。一方、顧客名“BBB”、住所“××-××”については、留守で訪問時刻“10:00”のみが記憶されている。

【0025】図7は、訪問管理表例を示す。これは、外交員名“富士通 太郎”が10月24日、10月25日に、顧客先を訪問した時間(訪問時間)を集計したものである。この訪問時間は、外交員が携帯ターミナル2を携帯して顧客先の玄関などに貼ってあるバーコード1をスキャンしてはじめて記憶され、この記憶された内容をホスト4に読み取らせて集計したものである。このため、図7訪問管理表に記載された顧客名、顧客住所、および訪問時間は、外交員が恣意によって任意に入力することができず、正確なものであり、これを参考にして外交員の売上および訪問作業負荷の適性配分などを行うことが可能となる。

【0026】図8は、預かり伝票例を示す。これは、顧客先でコードブックより終了のバーコードを入力した時に自動的に出力される。以上の実施例では、媒体としてバーコードを記録したものをを用いて説明したが、この他にもOCRや磁気記録を用いることも可能であり、本願発明の要旨内で種々の媒体を用いることができる。また、媒体を取付ける場所も特に制約されることなく、例えば訪問先がビル等であれば、テナント名記載箇所に貼布することもできる。

【0027】

\*【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、顧客先の家などにバーコードを記録した記録媒体を固着などし、外交員が当該顧客先を訪問した際にこれを携帯ターミナル2を用いて読み取って記憶すると共に日時を記憶し、あるいは更に発注内容を記憶し、帰社後、ホスト4にこれらのデータを伝送させて情報を収集する構成を採用している。従って、顧客コードを記載した記録媒体1を顧客建造物である玄関などに貼っているため、外交員は必ず顧客先を訪問しなければ顧客コードを入力し得ず、ホスト4に収集した顧客コードおよび訪問時刻が正確であり、これを参照して訪問作業負荷の適性配分および効率的な外回り管理を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施例構成・動作説明図である。

【図2】本発明の全体構成図である。

【図3】本発明の1実施例の動作説明図(新規会員の場合)である。

【図4】本発明の1実施例の動作説明図(留守の場合)である。

【図5】本発明のコードブック例である。

【図6】本発明の外交員の訪問実績例である。

【図7】本発明の訪問管理表例である。

【図8】本発明の預かり伝票例である。

【符号の説明】

1：記録媒体

2：携帯ターミナル(携帯用端末装置)

3：コードブック

4：ホスト

5：データ転送アダプタ

【図5】

1	2	.....	9	0
品名	コード	品名	コード	
Yシャツ	—	ズボン	—	
コート	—	—	—	
ブラウス	—	—	—	
—	—	—	—	
—	—	—	—	
セーター	—	—	—	
—	—	—	—	
セーター	—	—	—	
—	—	—	—	

コードブック例

【図6】

顧客名	時間	住所	預かり品番号	品名
AAA	9:15	XX-XX	111111111111	Yシャツ
			111111111112	Yシャツ
			111111111113	Yシャツ
			111111111114	スラックス
			111111111115	セーター
BBB	10:00	XX-XX		
CCC	10:10	XX-XX	111111111116	Yシャツ
			111111111117	セーター
			111111111118	コート

(注) BBBの顧客は顧客名、時間のみ・訪問したが不在又は訪問したが注文なし

外交員の訪問実績(XX年XX月XX日)例

【図8】

XXXクリーニング	
03/12/26	
預かり番	
担当者コード1256	
御客様名 佐藤 様	
品名	金額
0005 Yシャツ	180円
0006 スラックス	500円
0007 コート	980円
：	：
：	：
総点数	10点
合計金額4560円	

預かり伝票例

顧客の家

大

1: 記録媒体 (バーコードシール) スキャン

2: 携帯ターミナル

外交員

店

1: 記録媒体 (バーコードシール) スキャン

2: コードブック参照

3: コードブック

バーコード

預かり書

2: 携帯ターミナル

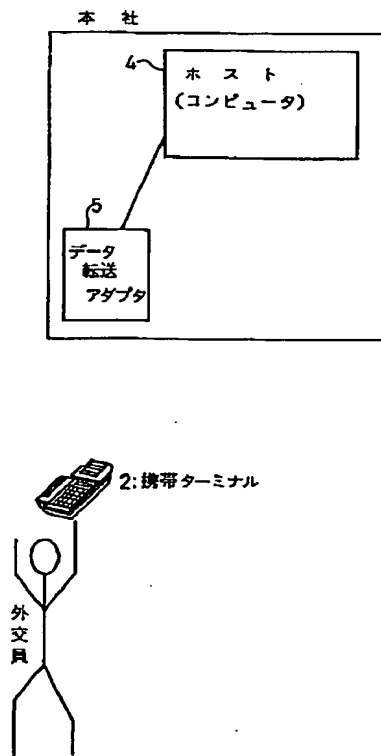
4: 車に戻り預かり品にタグを付ける

5: 終了の記録媒体を入力し預かり書出力する預かり書を手渡す

本発明の1.実施例構成・動作説明図

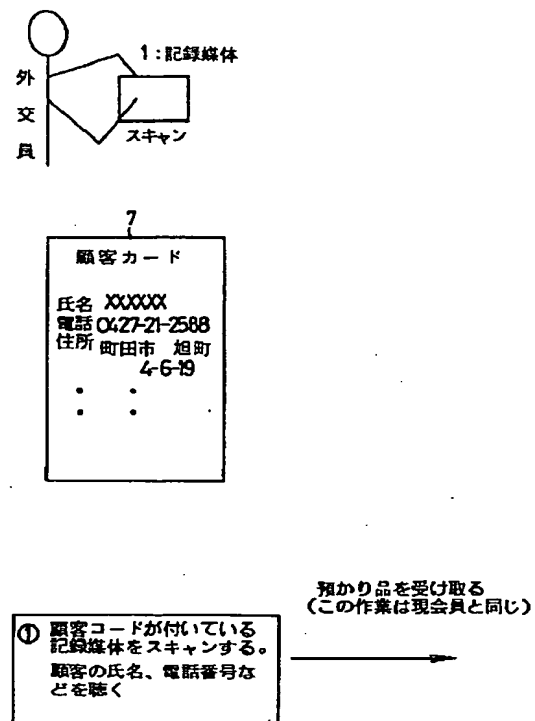


【図2】



本発明の全体構成図

【図3】



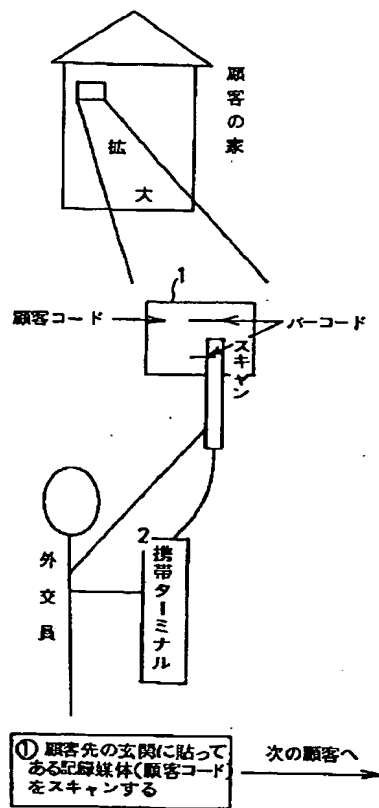
本発明の1実施例の動作説明図 (新規会員の場合)

【図7】

富士通 太郎			
日付	時間	顧客名	住 所
10月24日	9:00	鈴木 弘	町田市 小山町 1-5-5
	9:14	遠藤孝志	町田市 小山町 25-6
	9:19	河野 牌	町田市 小山町 25-7
	9:31		町田市 相原町 2-66
	⋮	⋮	⋮
10月25日	9:07	近藤啓介	町田市 相原町 6-22
	⋮	⋮	⋮

訪問管理表例

【図4】



本発明の1実施例の動作説明図(留守の場合)

## フロントページの続き

(72)発明者 林 良隆

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番

1号 富士通株式会社内

(72)発明者 坂 孝正

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番

1号 富士通株式会社内

(72)発明者 遠藤 隆

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番

1号 富士通株式会社内